

「大阪 W 選挙の敗因は何ですか？」

平成 27 年 12 月 1 日

●皆さんからの質問

大阪 W 選挙の敗因は何ですか？

●西田昌司の答え

負けたのは非常に残念ですし、今は私も元気ありませんが、大阪府民・市民が橋下維新の候補者を選んだという事実は認めなければなりません。「新幹線ネットワークによる近畿メガリージョン構想」実現のためには、大阪府知事 2 期目が決まった松井さんや新大阪市長の吉村さんの協力を得られるようこれから彼らにしっかりと説明していかなければならないと思っています。敗因はいろいろとあると思いますが、自民党大阪府連の力不足は否めません。来年の 2 月 7 日には京都市長選挙、2 月 14 日には八幡市長選挙、7 月には参議院選挙がありますが、今回の敗戦を他山の石としてこれからの選挙戦に生かさなければなりません。

近畿メガリージョン構想のこれからについてお話します。私は北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会の委員長に任命され、本日（11 月 26 日）キックオフしました。国会は 1 月 4 日から召集される予定で、会期が 150 日とすると 6 月 1 日が会期終了日となりますので、5 月中には敦賀・大阪間のルートを決めたいのですが、そのためには関係自治体の首長や JR の関係者等の様々な人の意見を聞かなければなりません。橋下さんの後任である吉村さんの任期は 12 月 19 日からですし、新京都市長も 2 月 7 日にならないと決まりませんので、まずは滋賀県の首長を 12 月に呼んで話を聞こうと思っています。

松井さんや吉村さんにしても、北陸新幹線を関西国際空港まで繋ぐという近畿メガリージョン構想に反対する理由はないと思うのですが、都構想を推進する彼らが積極的な財政負担を認めるかどうか懸念されます。今回のダブル選挙で彼らは半年前に住民によって否決された都構想に再挑戦すると言って選挙に勝ったのですし、またぞろ都構想といった誤った政策に彼らが傾注してしまうと近畿メガリージョン構想も肝心の大阪地区の計画が進まなくなってしまう。彼らが再び住民投票に持ち込もうと思っているのかどうかは知りませんが、そのようなことを考えるとうんざりしてしまいます。

都構想の誤りについてはこれまでに何度もお話してきましたが、二重行政の解消といった統治機構の改革をしても大阪が活性化するはずはありません。企業が首都圏ではなく近畿圏で投資をしたいと思えるような環境を作っていかなければなりませんし、首都圏と近畿圏のインフラ格差をなくすためには近畿圏に新幹線ネットワークを作ることが一番重要です。一日も早く近畿メガリージョン構想が実現するようこれからも頑張っていく所存です。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>